



# 本の読みきかせ…声のことばを感じる

当店をご愛顧いただいている東山家から微笑ましい日常会話が届きました。

おばあちゃん「本を読むことはご飯を食べることや寝ることと同じくらい大切なことやと思っとるんやよ。」

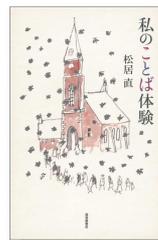
孫「本を読んでもらうことはご飯を食べることや寝ることいじょうに大切なことやと思っとるんさ。」

絵本が日常生活に溶け込んでいるのですね～！

福音館書店「こどものとも」産みの親、松居直さんの自伝『私のことば体験』が出版されました。その中でおっしゃるには、幼い頃、絵本や詩、お経などを生活習慣として耳で聞いて育ったことが原体験となっているそうです。

幼くて意味が分からなくても「両親の声のことば」を感じる事が大切なのだ。

そんな松居直さんの思いが形になった本『こどもに聞かせる一日一話』も同時出版。「母の友」に掲載されたお話をまとめたものです。未単行化作品なので、ぐりとぐらや、ばばあちゃん、だるまちゃんたちの知らなかったお話も収録されています。こどもも大人も楽しめる一冊です。



おはなし会



「私のことば体験」  
松井 直 著  
福音館書店 2,200円

「こどもに聞かせる一日一話」  
福音館書店  
「母の友」編集部 編著  
福音館書店 1,650円

## おはなし会

4日(火) 11:00～  
8日(土) 14:00～  
18日(火) 11:00～  
22日(土) 14:00～



## 大人のための絵本の時間

11日(火) 10:00～ **大人も絵本を楽しみたい!**

## 紙芝居ピッポの会ミニ講座

3日(月) 14:00～

## お知らせ

2022 10

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 定休日	紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	3 おはなし会	4	5	6 定休日	7
8 おはなし会	9 定休日	10 営業します	11 大人のための 絵本の時間	12	13 定休日	14
15	16 定休日	17	18 おはなし会	19	20 定休日	21
22 おはなし会	23 定休日	24	25	26	27 定休日	28
29	30 定休日	31				



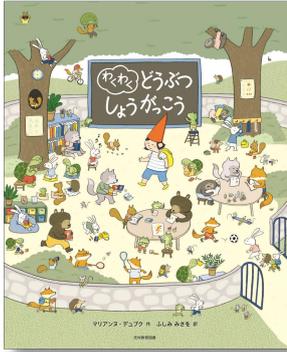
※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**  
〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)  
●電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com  
●定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00～PM6:00  
●ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



新刊紹介



「わくわく どうぶつ  
しょうがっこう」  
マリアヌ・デュブク 作  
ふしみ みさを 訳  
光村教育図書 1,650円

森の動物たちの小学校へ  
見学に行きます!はじめは  
ネズミの学校から。細やか  
な絵に楽しい発見がいつ  
ぱい!

「おいちののだーるまさん」  
こばやしえみこ 文  
こいでやすこ・小淵もも 絵  
福音館書店 880円



「たしますよ」  
内田麟太郎 作  
たごもり のりこ 絵  
金の星社 1,540円

「たい」にひともじたと  
と・何になる?ヒント  
は絵の中にあります  
よ。言葉遊びも絵も  
楽しい!

福音館書店より  
赤ちゃん絵本3冊

0.1.2.

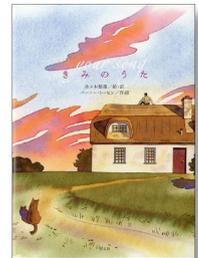


「おいしい絵本レシピ」  
野口真紀 著  
福音館書店 1,650円

絵本を読んでいて幸せ  
を感じるシーンには美  
味しそうな食べ物があ  
ったりしますよね。美味  
しい絵本と美味しいレシ  
ピを教えてください。



「もぐもぐ がじがじ」  
中野明美 文  
大島妙子 絵  
福音館書店 880円



「きみのうた」  
佐々木悟郎 絵・訳  
パーニー・トーピン 作詞  
集文社 1,540円

エルトン・ジョン「ユア  
ソング」をノスタルジ  
ックなイラストで表  
現。洋楽を楽しんで  
いた学生時代を思い  
出します。



「ブロッケン森の  
ちっちな魔女」  
原作 アレクサンダー  
・リースケ  
翻訳・翻案 西村佑子  
絵 ももろ  
静山社 1,210円



「ぴーぴー  
ばっくしまーす」  
片山 健 作  
福音館書店 880円

「ブロッケン森の魔女の魔  
法の本」によって、魔女  
になった小さな女の子  
ミニー。動物たちと一緒  
に事件を解決していき  
ます。小学中学年から。

大人コース



「絵本のことば  
詩のことば」  
内田麟太郎  
皓星社 1,980円

2006年出版のエッセイ集『絵  
本があつてよかったな』が出版さ  
れたとき、麟太郎さんの優しさ  
や、ユーモア、頭の柔らかさなど  
に感動したものでした。

今回は更に幼い頃から81歳になられた現在までの、  
決して平坦に難なく作家になられたのではないご苦労  
を思いつつ、一方で、絵本秘話や作家仲間との思い出  
話を楽しみつつ読みました。

過去の新聞や雑誌の記事、連載をまとめられ、最後  
に書き下ろしで父である詩人内田博さんについて書か  
れています。

あとがきに「これは私のエッセイ集のようです」と、麟  
太郎さんらしい言葉。“らしい”は気が引けるんですつ  
て。(孝子)

新刊紙芝居



「まてまて あんぱん」  
脚本 こまつのぶひさ  
絵 和歌山静子  
童心社 2,090円 12場面

女の子がお山の上までピクニックにやってき  
まして、あんぱんを食べようとしたところ、ころ  
ころころ…転がる先には虎が!